

# のうきょう ちがしづ

知育心



賞状  
五十一年十一月二十一日  
滋賀県 川村清身さん殿  
貴家の出産した仔牛は、日本ホルスタイン協会主催の全日本ホルスタインコンテストで、最優秀賞を受賞しました。この栄誉を心から 축하申し上げます。  
全日本ホルスタイン協会  
会長 村山富市

'96 1 No.253

川村清身さんファミリー、全日本ホルスタイン共進会内閣総理大臣賞受賞おめでとうございます

# のうきよう ちがいつ

## もくじ

- 3~7 — 年頭のごあいさつ
- 8~10 — 子年生まれの仲間大集合
- 11 — ショーを通して家族のふれあい、喜びを  
北進地区 川村清身さんファミリー
- 12~13 — <婦人海外研修>  
ニュージーランド、オーストラリア  
12日間の旅
- 14 — 根釧合同JA女性部研修会
- 16 — 野菜生産組合10周年記念祝賀会  
朝市10年の歩みを祝う
- 17 — <組合長日誌>  
ヨーロッパ農業を視察して
- 18 — 地区別懇談会
- 19 — <理事会の経過>  
第9回理事会
- 20~21 — 今月のフォトアルバム
- 22 — 12月の組合日誌

爽やかな新春を迎え  
佳き年の賀詞を申し上げ、皆々様の  
ご多幸と心からお祈り申し上げます。



# 賀正

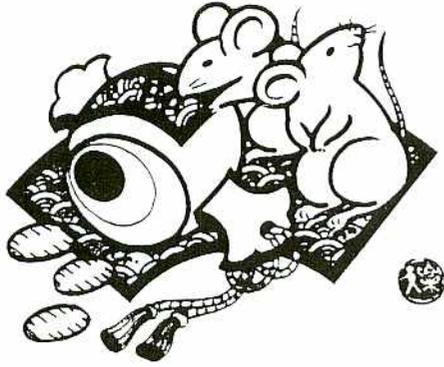
新春もいよいよ

謹んでお慶びを

申し上げます

皆様様の御健康と御多幸を  
心からお祈り申し上げます

平成八年 元旦



中標津町農業協同組合

代表理事組合長

副組合長理事

生産委員長理事

管理購買委員長理事

営農委員長理事

理事

三友盛行

鈴木祥幹

竹下日吉

中浦健雄

上村重光

鷺見孝光

太田功一

土井信一

佐藤擴

中司哲雄

高橋勝義

渡辺善行

太田直行

藤井美智夫

代表理事  
監事

〃

〃

〃

〃

〃

〃



# 二十一世紀に存続し得る農業

中標津町農業協同組合代表理事組合長 三友 盛行

新年おめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては  
多事、多難でありました平成七年  
を無事乗り越え、希望を持って新  
しい年を迎えられたとご推察しお  
喜び申し上げます。

平成七年を振り返ってみますと、  
阪神大震災に始まり一連のオウム  
事件、官々接待、道庁問題等々と  
全く予期せぬ事の連続でした。  
また大手スーパーに依る価格破  
壊路線は、原材料である農畜産物  
の価格引き下げと、輸入物の増大  
を招いてしまいました。

牛肉、加工でん粉、脱粉などの輸  
入増大は初生牛、肥育牛、でん粉  
共計清算の遅れと、価格の低下と  
いう形で影響が大きくなりました。  
また、牛乳は一〇三割の目標を  
樹てましたが、一昨年の猛暑、地  
震の影響により達成が困難な状況  
です。各々の経営目標に向かって

生産に励んで下さい。

なかしべつフーズは一時期委託  
品の減産がありました。その後  
回復し、計画を若干下回っており  
ますが、前年比では大中に生産が  
伸びており、今後目標達成のため、  
一層の努力をしてまいります。

乳製品工場はケフィアの伸び悩  
みが見られ、少量容器の発売、P  
B品の飲むヨーグルトの製造と収  
支改善に努めております。今後は  
現有施設の多様な活用による技術、  
製品開発により、地元乳製品工場  
としての使命をより大きく果たし  
てゆく様に致したいと思っていま  
す。

平成八年における農協としての  
目標、課題は昨年末の地区別懇談  
会でもお知らせ、説明致しました  
様にあります。

農協合併については、現況の流  
れの中では近い将来必要という観

点に立ち、北部三農協による推進  
協議会を設けました。

組合員にとって一番良い農協像  
を求めて、視察、勉強などと資料  
を集めており、整理されましたら、  
協議をしていただきます。

Aコープストアも組合員、町民  
の皆様が大変お世話になり、大き  
な成果を上げて今日に到っており  
ますが開店以来二十五年を迎え、  
今後の展開を検討する段階になっ  
ております。

第三期生乳生産対策では減産の  
ない安定生産を目指しており、一  
円拠出には賛否があり、一月の中  
旬には結論が出る予定です。

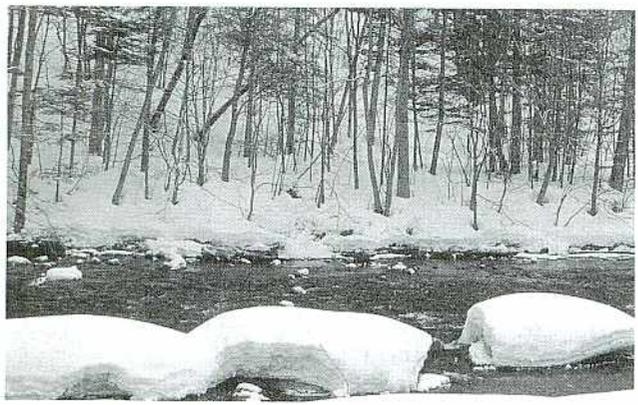
農産物自由化の中での、農業経  
営のあり方を問う意見が沢山あり  
ました。農家個々の投資、経費、  
労働力の軽減を含めて、農協組織  
として、どのような形で補完、支援  
をするのが良いか検討、協議をし

てまいります。

また農協内部においても、組合  
員対応の充実と、組織、職員体制  
を合理的に整備し、皆様の経営、  
生産の向上に努めてまいりたいと  
願っております。

二十一世紀に存続し得る農業、  
農協を目指してこの一年を過ごす  
所存であります。

平成八年が豊穰であり、組合員  
の皆様がご多幸であることをお祈  
り申し上げます。





# 豊かな農業創りに全力

北海道農業協同組合中央会会長

阿部 忠男

謹んで、新年のお慶びを申し上げます。

昨年の本道農業は、一部の地域で天候不順による被害はみられましたが、総体的には平年作となりました。これも組合員の皆様のご努力によるものと、ご同慶にたえません。今年が豊穡の年となりますよう、心から祈念する次第であります。

いま、農業は大きな転機を迎えております。昨年のWTO（世界貿易機関）体制への移行でありま

す。これは農畜産物の全面自由化の第一歩であり、土地利用型農業を基幹とする本道農業に及ぼす影響は、計り知れません。

応じた具体的な施策の実現が必要であります。

今後は政府に対して、農畜産物貿易の新たな枠組みの中で、基礎的食料の自給を原則とした、新たな貿易ルールの確立や新農業法の制定など、諸課題の解決を求めていきたいと存する次第であります。

また、半世紀以上にわたって国民の主食である米を全量管理した食糧管理法が、昨年十月三十一日に廃止されました。この間、組合員の再生産を補償し、消費者の家計を安定させるなど、大きな役割を果たしてきたものであります。

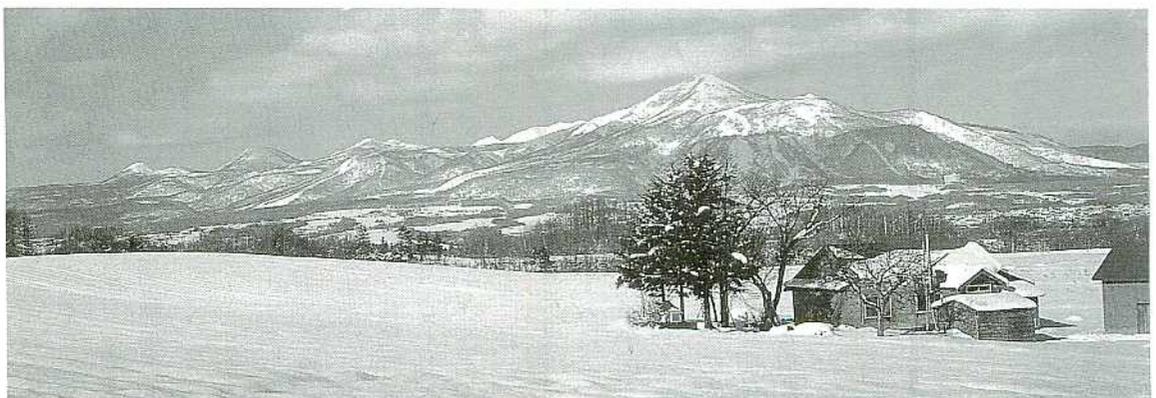
代わって十一月から新食糧法が施行されました。行政をはじめ、JAグループ・関係機関が一丸となって、自主流通米価格と農家経営の安定を図る必要があります。私は、食料の自給、安定確保は

国の最優先課題と信じてやみません。本道農業の持つ大規模、高生産性を生かし、安全でおいしく、

より良い農畜産物を安定的に国民に供給し、名実ともにわが国の食料基地としての北海道農業確立を目指しているところであります。

そして我々は、今後地域社会とのつながりをさらに強めますとともに、農業の持つ国土・環境安全についての役割も十分に果たしていかなければなりません。

年頭に当たり、本当に豊かな北海道創りに、JAグループの全力を尽くしていきたいと、決意を新たにします。





## 国際化に打ち勝つ 経営の再構築を

北根室地区農業改良普及センター所長 井芹 靖彦

平成八年の新春を迎え謹んでお  
よるこび申し上げます。

最近の農業情勢は政府管掌作目  
価格の低下、抑制的な計画生産が  
続く中で平成七年一月、ガット・  
ウルグアイ・ラウンド農業合意に  
基づき、WTO体制が発足し本格的  
な輸入自由化時代を迎え、内外  
農畜産物との競争激化が予想され  
ます。

一方、国民の健康や食品の安全  
性への関心が高く、安全で良質な  
農畜産物に対するニーズは一層高  
まっています。加えて環境や心の  
やすらぎといった側面への関心が  
高まる中で、自然とのふれあいや  
ゆとりある生活空間など農業、農

村に対する多面的な機能に対する  
期待が大きくなっており、し  
かしながら輸入自由化や円高の進  
む経済情勢は、徐々に地域酪農に  
対し影響を及ぼしております。そ  
のためガット期間中の残された五  
年間に、国際競争力を備えた体質  
の強い農業農村の構築が緊急の課  
題となります。これらに対応する  
ため、ラウンド対策として種々の

政策が打ちだされております。す  
でに、これらを活用し、営農強化を  
図っておられる方々も見られます  
が二、三説明すると次の通りです。  
農業経営の体質強化対策として生  
産基盤整備と農家負担の軽減、農  
地流動化の促進、負債償還圧の軽

減、担い手の育成確保として新規  
就農者に対する諸施策、さらに農  
村活性化対策として、多様な担い  
手の確保、農村の環境整備などが  
あり、資金や事業など多くのメニ  
ューが準備されております。

このような諸制度を活用しなが  
ら、地域特性を発揮させる営農体  
制の構築が重要になります。その  
ため永年に亘って培ってきた地域  
機能や、農業者の持つている機能  
を発揮させることが必要になりま  
す。さらに、地域の抱えている課  
題も同時に解決する努力も必要に  
なります。地域酪農の課題の一つ

に糞尿が取り上げられ、徐々に問  
題になりつつあります。増頭を前  
提とした営農改善計画にあたって  
は、糞尿処理の解決が重要になり  
ます。環境規制が厳しくなるにつ  
れ、糞尿処理に膨大な投資を余儀  
なくされようとしております。幸

い北根室では、糞尿を生産材とし  
て還元できる広大な草地を有して  
おります。産地間競争に打ち勝ち、  
最後に残る酪農は草地型酪農と考  
えられます。

低コストで効率が高く、しかも  
ゆとりがあり、豊かさの実感でき  
る酪農が目標になります。そのた  
め、経営方針を考える場面では大  
規模経営ばかりでなく、地域特性  
を活かす意味でも軸足を変えてみ  
ることも重要になります。

酪農を基軸とする場面において  
も、その選択肢は無数にあります。  
この事を経営体で実現するには、  
思いきった発想転換、先進事例な  
どを参考にし、経営のリストラ(再  
構築)が必要になります。そのた  
め我家や地域の利点や欠点を明確  
にし、何を改善すればゆとりや豊  
かさを実感できるかを確認したい  
ものです。

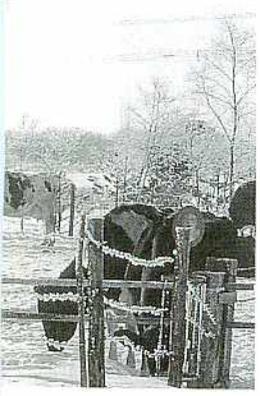
新年明けましておめでとうござ  
います。

## 自覚を持ち 自らの役割を果たして

中標津町農協青年部部長 高橋 敏行



昨年中は、未熟な部長ではあり  
ましたが、部員の皆様には日頃よ  
り青年部活動に参加、協力いただ



き心よりお礼申し上げます。

さて、平成七年の酪農は一昨年  
の猛暑、地震などの影響が回復せ  
ず、全体での牛乳生産量は計画に  
追いつかない状況です。また、乳  
質も少しずつ向上はしていますが、  
管内的には下位に近い現状です。

続いて、農作物については順調  
な生育でしたが、収穫期に入ると  
二日と続かない天気悩まされま  
したが、後半は回復し、十一月で  
も暖かい日が続き無事まずまずの  
収穫で終える事が出来ました。  
また、昨年は開町五十周年記念

事業があり、文化会館が完成、開

陽台の展望台が新築され、町の観  
光祭りも丸山公園から文化会館前  
広場に移るなど町としても節目の  
年として大きな事業が行なわれま  
した。さらに、平成十年完成予定  
の町立病院建設にあたり、町民の  
意見要望を取り入れての準備が進  
められています。

J A 青年部も二年後には設立五  
十周年を迎えます。この節目に向  
けても私たち青年部員は、事業活  
動を通して地域の人々との交流、  
情報交換など、将来の農業、農協

## 農業は生命産業と 心のふるさと

中標津町農協婦人部部长 横田 純子

皆様あげましておめでとうござ  
います。平成八年の新春を迎え心  
よりお慶び申し上げます。昨年は  
いまわしい事がありました、  
この新しい年は農を営む者にとつ  
て良い年でありますようにと願う  
のは、私一人だけではないと思ひ

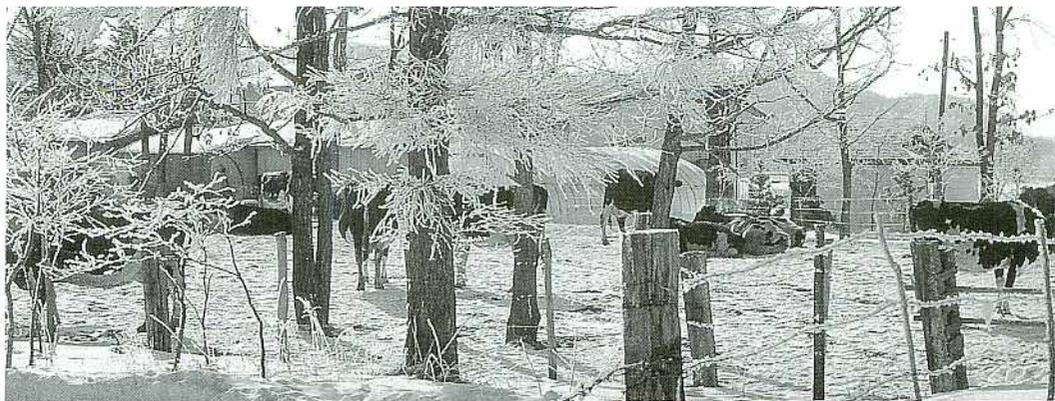
ます。農業新聞などでご存知の様  
に、農協婦人部の名称も全国段階  
から女性協の名を使い綱領や歌、  
シンボルマークも皆変わる事にな  
りました。新しく生まれ変わって  
J A 女性協として、また新たな第  
一步を踏み出します。農業は生命

を背負う若者として、さらなる活  
動の充実を図って行かなければな  
りません。そのためには、部員一  
人ひとりが力となって協力して行  
かなければならないのです。

中標津町は自分達の町なのです。  
明るい農村環境を造るためにも部  
員としての自覚を持ち、自らの役  
割を果たしていかなければなりま  
せん。

新年を迎え、新たな気持ちで共  
にがんばりましょう。

産業です。国土保全や環境保全の  
役割を担っていることを再認識し、  
重要性を高め、自然の恵みを得な  
がら、多くの人々の心のふるさと  
である農村の良さを積極的にアピ  
ールし、心豊かに今年一年を過ご  
したいものです、とはいっても健  
康なくして何があるでしょう、健  
康第一です。自分の健康、家族の  
健康、ホームドクターは女性の皆  
さんです。健康管理に充分気をつ  
けて、本年が希望と明かるさの持



てる実り多い豊かな年であります  
様、心からお祈りして挨拶といた  
します。

# 子年の仲間

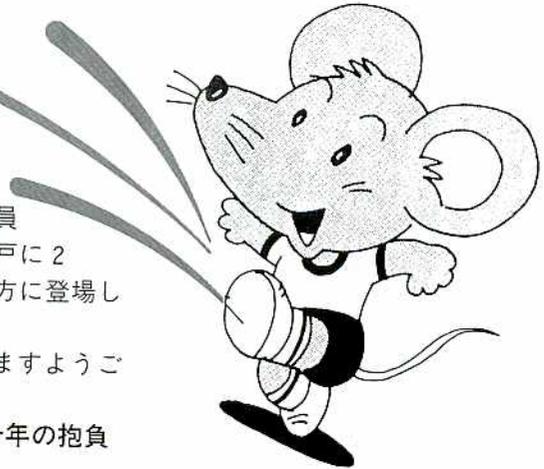
# 大集合!



今年の干支は子、十二支の第一番目です。子年生まれの組合員皆さん118人の中から1戸に2人以上の子年生まれの方に登場していただきました。

今年も良い年でありますようご祈念申し上げます。

- ①生年月日 ②今年の抱負



俵中地区

乾 洋さん

①昭和二十三年三月六日

②仕事を通じて社会に貢献できた

ら!

乾 かつ枝さん

①昭和二十三年三月十日

②今の仕事をいっしょけんめい

がんばります。

当幌地区

奥田ハツエさん

①大正十三年一月十二日

②健康に気をつけたい。

奥田昌江さん

①昭和三十五年九月二十九日

②家族みんなが健康で

奥田悠平さん

①昭和五十九年九月四日

②サッカー、スポーツがんばるぞ。

俣落地区

笠原嬉代美さん

①昭和十一年七月十五日

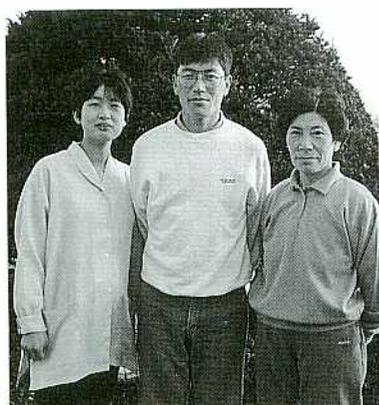
②家族の健康管理に努めます。

笠原よし子さん

①昭和三十五年十一月二日

②子供といっしょに水泳教室に通

います。



俵中地区

北川千栄子さん

① 昭和十一年一月三十日

② 海外旅行に行ってみたい。

北川誠治さん

① 昭和三十五年三月二十日

② 家族と牛が健康であるように。

共成地区

桜井博明さん

① 昭和三十五年四月十一日

② 牛乳を搾りたいだけ搾らせてほしい。

桜井みどりさん

① 昭和三十五年十二月七日

② 子供を元気に育てます。

共和地区

長縄良子さん

① 昭和十一年十月十日

② 元気な内孫の顔を早く見たい。

長縄義博さん

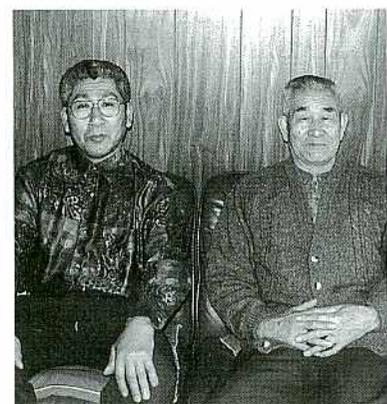
① 昭和三十五年九月二十三日

② 昨年以上に良い年をめざして、(どうだ！)

長縄さおりさん

① 昭和四十三年三月十日

② 自分の時間を大切にしたいです。



協和地区

林 勝利さん

① 昭和三十五年三月二十二日

② 近い将来乳量五百、めざしがんばります。

林 晴美さん

① 昭和三十五年三月二十六日

② 夢だった家の増築も実現、ヘルパーを利用して遠くまで家族旅行に行きたい。

西共栄地区

半沢勇雄さん

① 大正十三年二月一日

② 何と言っても健康が第一！

半沢千亜美さん

① 昭和三十五年八月二十四日

② 勉強で好きな音楽ががんばります。

俵橋地区

久本一雄さん

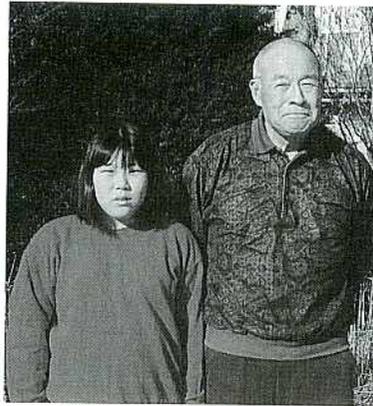
① 大正一年九月十五日

② すべての事に常に前向きに。

久本時雄さん

① 昭和十一年六月三日

② 誠実で努力しながら目標に向かって。



俵橋地区

福嶋カナメさん

- ① 大正十一年十一月十六日
- ② 健康作りに向け家の周りの草取りにがんばります。

福嶋ヤイ子さん

- ① 昭和十一年五月一日
- ② 健康で後継者の手助けをして行きます。

福嶋剛さん

- ① 昭和三十五年十二月十五日
- ② 家族健康で今年もがんばりたい。

開陽地区

房川喜延さん

- 大正十三年七月二十五日
- ② 数ある職責を責任をもって全うしたい。

房川久里子さん

- ① 昭和五十九年一月五日
- ② 今年は中学生、大好きな算数、いっしょうけんめいがんばります。

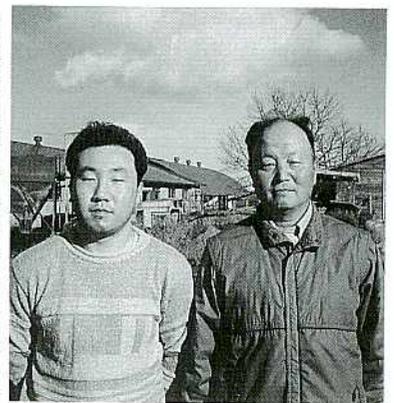
当幌地区

舟田正義さん

- ① 昭和二十三年二月五日
- ② 和牛の生産にも力を入れて行きたい。

舟田仁子さん

- ① 昭和二十三年六月九日
- ② 息子と二人でホルスタインに力を入れます。



南俵橋地区

本多萌さん

- ① 昭和十一年四月二十五日
- ② 家族全員が健康で暮らして行ける様に。

本多健さん

- ① 昭和四十七年十月八日
- ② 青年ヘルパーをやりながら酪農の勉強をして行きます。

当幌地区

室井美智子さん

- ① 昭和三十五年三月五日
- ② 家族でのんびりと、どこか旅行に行きたい。

室井美征さん

- ① 昭和五十九年七月十六日
- ② 六年生になっても勉強がんばる。

俵中地区

山下孝二さん

- ① 昭和十一年十一月十七日
- ② 今年も実り多い年に。

山下真二さん

- ① 昭和三十五年三月十日
- ② 特にないが、実りある一年にしたい。

# ショーを通して 家族のふれあい喜びを

表紙  
の  
紹介

北進地区

川村さんファミリィ



平成8年新年号の表紙は、第10回全日本ホルスタイン共進会で名誉賞（内閣総理大臣賞）に輝いた川村清身さん(57歳)のご家族に登場していただきました。

川村さんは、昭和三十八年に入植。馬一頭、牛一頭という一からのスタートで、現在七十歳の経営面積に乳牛約百四十頭を飼養し、年間五百ポンドの牛乳を生産（個体乳量は一万ポンド）しています。

家族は奥さんの露子さん（五十六歳）と息子夫婦の尊之さん（二十七歳）、早苗さん（二十七歳）。そして目に入れても痛くないという三人の孫、彩香ちゃん（五歳）、悠吾くん（三歳）、鈴夏ちゃん（二歳）の七人家族。

川村さんが共進会に牛を出品するようになったのは、昭和四十三年頃からと言い、昭和五十年には中標津町農協総合共進会で最高位に輝く（ミスヨーク アライアンス コッキー号）など、その後も数々の名牛を育て、根室管内は基より全道、全国とその名声を博しています。

川村さんの乳牛改良は、自家産牛が基本「生まれた仔牛は自分の子供と同じ様に愛情を込め、育てています」と話す清身さん。

今は尊之さん、早苗さん夫婦が経営、乳牛改良に参画し、乳器と

おいしい  
牛乳は良い  
環境から



足、腰、バランスのとれた乳牛作りに取り組んでいます。

また、農村環境作りにも力を入れ、平成六年に行なわれた「根室さわやか農村環境コンクール」では優良賞に輝くなど、「新鮮でおいしい牛乳生産は良い環境から」を合言葉に家族、地域ぐるみでの取り組みも展開しています。

「厳しい酪農状況の中にも共進会を取り入れ、家族のふれあい、楽しさ喜びの味わえる経営に行きたい」と話す川村さんファミリィです。



アンブリード研究所にて、ニュージーランドで2番目の精子摘出規模を誇ります

# 思い出深いファームステイ、 コアラ、カンガルーとの出会い

JA中標津婦人海外視察研修は、農業経営を支えるご婦人達が直接外国の生活にふれ国際的視野を広め、ゆとり・うるおいのある農業経営をめざし、三カ年間継続される事業で、二年目の今年は添乗員を含め十一人が十一月二十七日より十二日間でニュージーランド、オーストラリアの二カ国を訪問。酪農家視察やファームステイをし、観光地を見学する予定でした。

しかし、ニュージーランドに向けて飛行中のわれわれが乗った航空機が、午前四時頃「晴天乱気流」に遭遇してしまつたのです。「晴天乱気流」というのは、積乱雲中の対流など大気が不安定になつて発生する気流の乱れで、発生の予想

は非常に困難で、日本でもそれが原因となつて墜落した航空機もあるそうで、乗員五百十四人のうち三十人を超える乗客が、なんらかの被害に遭いました。

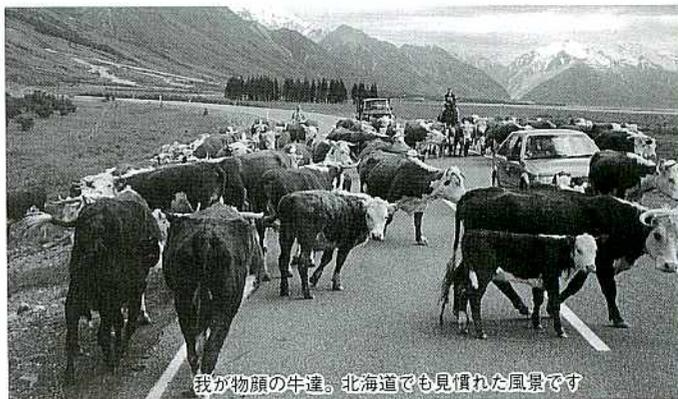
そのニュースは世界的に報道されており、日本でもご覧になつた方もいらつしやるかと思ひます。われわれのグループでも打身、ねんごはもとより、十一針も縫うけがをされた方もいましたが、空港病院の完璧な縫合手術とご婦人の気力でそのまま快適に旅行を続ける事ができました。

とにかくシートベルトさえ装着していれば、少なくともけがはなかつたわけで、これをお読みになつてみるみなさま、飛行機ではサ

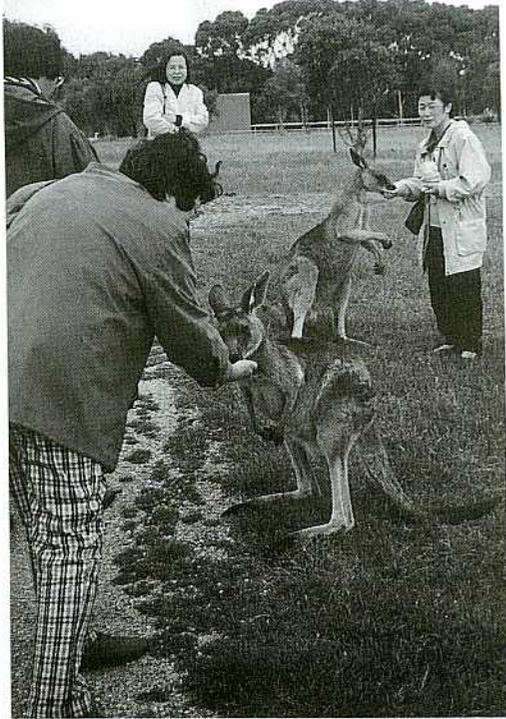
## ニュージーランド、 オーストラリア12日間の旅

インが消えても必ずシートベルトをしましょうね。

そんな事故の後、サザンアルプスの氷河に直接ふれるために、小さなセスナで観光するというコースが悪天候で中止となり、みなさん胸をなでおろしておりました。さて、雨にたたられたものの、広大なフィヨルドを船でクルーズ見学。豊かな緑のロマンチックな街並み、ガーデンシテイことクライストチャーチ。そして、いよいよ待ちに待った(?)ファームス



我が物顔の牛達。北海道でも見慣れた風景です



カンガルーにエサをやれるなんて、動物園でもできませんね

ティが始まりました。外国のファームステイは初体験の方もいて、みんなドキドキ。ハミルトンの待ち合わせ場所で、各ファームステイ先の青い目をしたおかみさん達がお出迎え。

ファームステイの合間、日中は視察研修。ヘレフォード、ジャージー、フリージア（こちらではホルスタインとは呼ばない）、アングスなど種牛の品種改良を行なうアンブリード会社研究所。自然の牧草と人件費をかけない、世界でも有数の省コスト酪農を誇るニュージーランドで典型的な酪農家、マクド

ナルド酪農牧場を視察しました。ここでは二人という小人数ながらも、ミルクングパーラー方式で一時間に二百二十頭を搾乳しているとの事で、なによりも雪がないという有利な風土特質を生かし、簡素な施設と七百エーカーという農地面積。百エーカーは奥さんの趣味（ノ）で、野菜を作っているとの事です。

あつというまの二日間が過ぎ、各ファームステイ先のおかみさん達との涙の別れ。

ホテルに着き、日本の農業と比較したり、ラップ処理などの環境

を見ながらティナー・クルーズで最後の夜を迎えました。

いろいろありましたが、一番最初に Pain（痛い）の単語を覚えた方、ファームステイ先で四百頭を午前四時と聞き間違え、星空の下で搾乳を待っていた方、おなじく江差追分を披露して拍手喝采



有名なオペラハウスに入ったのです。岸壁でタイを釣っていた人がいました

保護や牛舎周りの環境整備、環境保護について、みんなでマジメに（本当かな）議論しました。

後半はオーストラリアです。カンガルーや本物の（？）コアラを抱いての記念撮影。オペラハウスやハーブブリッジ。シドニー湾ではちよっぴりおしやれして、夜景

された方、みなさんいろいろな想い出と、おみやげいっぱいでお中標津空港に降り立ちました。そこに一列に並んでニコニコ出迎えてくれた、やさしいお父ちゃんたち。

ほんとうにありがとうね。こんどはお父ちゃんも一緒に行こうね。



テーブルマナーも完璧！

# 家族のルール づくりを考える

心・体・仕事の  
ゆとりがすべての基本  
根釧合同JA女性部研修会

にもとづき討議さ

演、事例発表など

テーマについて講

会に分れて、研修

会に分れて、研修

などを含めて発表

されました。

その後、五分科

会に分れて、研修

演、事例発表など

にもとづき討議さ

演、事例発表など

にもとづき討議さ



「我が家の家族協定」を発表する遠藤さん

十一月二十八日から二十九日に川湯温泉で、平成七年度根釧合同JA女性部研修会が開催され、当婦人部から十二人と事務局で参加いたしました。

今回の研修テーマは、「家族のルールづくりと正組合員加入」という事で、北海道報徳社の浅井昇氏による「農村女性と正組合員」と題した講演から始まりました。

次に当婦人部員でもある、中標津町保落の遠藤照子さんより、「我が家の家族協定」と題しての事例発表が行なわれました。

昭和六十一年に協定を締結された遠藤さん宅ですが協定を結んだという点でのメリットなどを含めて発表されました。

その後、五分科会に分れて、研修テーマについて講演、事例発表などにもとづき討議



根釧地区から約200人の女性部員が参加しました

「家族の中でのルールづくりがうまくゆけば、ゆとりなどにもつながる」「若い世代に対し、また老後に対してもしっかりした協定を結ぶ事は理想的である」などの意見が発表されました。



当婦人部から12人が元気に参加

心・体・仕事のゆとりがすべての基本であり、今、自分の家のゆとりがどうあるか、どうあるべきかを考え、ルールづくりを検討していこうとのことで、研修会を終了いたしました。

第四十四回全道JA青年部大会が十二月七日・八日「未来につなげよう食と農」をテーマに、札幌市グリーンホテル札幌を会場に開催されました。

大会には全道から約六百人の盟友のほか、JA婦人部員や大学生なども参加。開会に当たり、JA道青年組織協議会の森川和徳会長が「地域を発展させるためには、盟友自ら考え取り組むと同時に、農村にいるパートナー、さまざまな団体、各界と一緒に考え支援してもらおうのも大事な事。今大会に

## 次代へつなぐ農業を どう描き、実現するか

Think Together

全道JA青年部大会

未来につなげよう



大会に参加した右、高橋敏行氏と左、高橋正一氏。また、飯島清氏も参加

### 全道JA青年部大会— 結束を図り対外広報活動を—



約600人の盟友が参加したJA青年部大会

にアピールするものとなつてほしい」と激励しました。

その後、基調講演に移り、タレントの楠田枝里子さんが「美しい人との出会い」と題して講演。続いて、五分散会に分かれ、北海道タイムスや日本農業新聞記者などのゲストに加え、酪農学園大学の学生やJA婦人部フレッシュユミセスを交え、自信を持って次代へバトンタッチできる北海道農業を、どう描き、実現して行くかについて討

議されました。

八日には、第二十一回全道JA青年部活動実績発表大会とフリースピーチ、本大会が行なわれました。



基調講演した楠田枝里子さん

本大会では、①若い力を組織に結集し、JA運動の実績とJA青年部活動の強化をはかる②農業経営の合理化・効率化につとめ、安全・良質な農畜産物の生産につとめよう③地域経済と農業・農村の活性化をはかるため、積極的な対外広報活動をすすめるよう〜のローガンを確認。

活動実績発表大会では、十勝地区・JA幕別町青年部の山田智康さんが発表した「農」を通じた国際交流」が、フリースピーチ・JA青年部の主張大会では石狩地区・JAひろしま青年部の佐々木透さんがそれぞれ最優秀賞に輝き、東北北海道ブロック大会の道代表に選ばれました。

# 朝市10年の歩みを祝う

野菜生産  
組合10周年  
記念祝賀会



体力の続くかぎり今後もがんばって行きたいと組合のおかあさんと共に関係機関みんなで記念写真

新鮮野菜の朝市活動などに取り組み、中標津町野菜生産組合が設立されてから十年を迎え、十二月八日中標津町寿宴で創立十周年記念祝賀会が開催されました。

同組合は、昭和六十一年十二月に俵橋地区の熟年婦人七人が、地産の本物の新鮮野菜を味わってもらうと、「俵橋野菜生産組合」として発足。翌年六月二十七日に第一回の朝市を開催しました。



楽しいピン踊りを披露してくれたおかあさんたち

昭和六十二年には、武佐、開陽、俵落地区などから新会員七人が加わり、同年二月に名称を「中標津町野菜生産組合」と変更。以来、朝市を始め、中標津らしい加工品づくりを目指しての漬物、ルバーブジャム、いもだんごの製造に取り組んでいます。

開会にあたり広瀬茂子組合長が「新鮮で安全な野菜を、安価で消

費者に提供しよう。仲間づくりや消費者とのふれあいを大切にちよっぴり儲けよう。を合い言葉に十年間頑張ってきました。この十年の間には、言葉では言い尽くせない苦労と努力がありました。野菜を喜んで買ってくれる消費者の顔を見ると、喜びで胸が一杯になりました。これからも体力の続く限り頑張っていきます。」とあいさつ。

祝賀会には、根室支庁を始め中標津町、農協、普及センターなど関係機関から約五十人が出席し、同組合の十年間にわたる活動の労を称えました。

続いて祝宴に入り、朝市活動のビデオや、おかあさんたちの元気なピン踊り、カラオケなども披露され盛會な祝賀会となりました。

また、同会では「十年のあゆみ」を綴った記念誌を作成し、祝賀会出席者に記念として配られました。



祝賀会で挨拶する  
広瀬組合長

# ヨーロッパ農業を視察して③

希望の中、新しい年をお迎えと存じお祝い申し上げます。

本当に早いもので、瞬くまに一年が過ぎて行きました。

子供の頃には指折り数えて待ったお正月でしたが、この頃の一年は忙しく明けて、忙しく暮れて行きます。

この頃では食べる物、着るもの、小遣いなど、毎日がお正月です。

季節の移り変わり、時の流れと、一年のめり張りをつけながら、忙しいだけの毎日でなく、農業の良さを味わいながら過ごしたいと願っています。

## ドイツ

コペンハーゲンから空路フランクフルトに入り、バスでドイツの農村風景を見ながら、ローデングルグ近郊のグンデル農場を視察しました。

この地方の平均的農家は四十鈴前後で、大部分は兼業農家です。

グンデル農場は、農地百鈴、乳牛百三十頭、搾乳牛五十五頭、畑

作はトウモロコシ、ナタネ、小麦、大麦、ビートなどを作付けしており、外国の実習二人と父親の四人の労働力でした。

奥さんはファームインを経営しており、収入は農業収入より多い

●今月のたより……

# 組合長日誌

代表理事組合長

三友 盛行



との事でした。

乳牛では、ホルスタイン種が三

〇鈴、七〇鈴は乳肉兼用種で一頭当り五千五百鈴、年間二百五十鈴が割当でした。

粗飼料は、牧草、グリーンピー

スの茎葉、えん麦、冬はトウモロコシを与え、穀物はコンピュターで個体管理をしており、配合は一鈴二十一円です。飼養形態はフリーストール、スラリー方式で、フン、尿は地下タンク、散布は三月から十一月までの期間。

乳価は一鈴四十二円、牛肉は四百二十円程度、クォーター制が確立されており、増産が出来なく、超過ベナルティーは四十九円です。

EU共同政策、ガットと農業が切り捨てられ、農畜産物の価格が引き下げられて、将来に希望が全く持てないと怒っていました。

それでも意欲ある農家は将来に備えておりました。

効率の良い農業ということで、大型機械の導入、牛舎、飼料、肥料の単味、単肥の配合などを行なっていました。しかしながら、農

機具、施設の建設費は日本以上に高価格で、明らかに過剰投資でした。コストを下げるための拡大が

コストを上昇させてしまい、百鈴では経営が出来なく、千鈴経営でなければ成立しないと嘆いていました。

ドイツの農村風景は誠に美しいものでした。しかし、実際は後継者、花嫁、労働力不足です。

あの美しい風景を維持するため、の経費、労働力が若者を農村から引き離し、若い女性に嫁ぎ、住むことを敬遠されています。

農村、農業は都会の人のための食料供給、安息の景観の道具だてに過ぎない様です。

休日村々には農村風景を満喫する都会の人々で溢れていました。



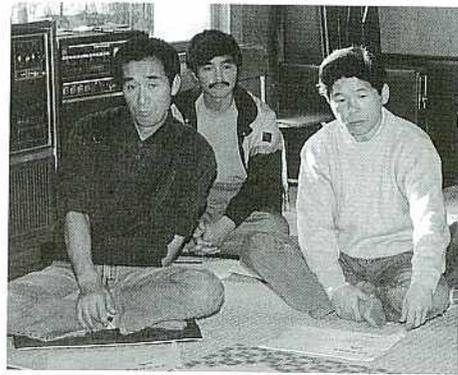
グンデル農場牛舎とファームインロッヂ(右)牛舎とロッヂが続いています

# 地区別懇談会開催される

今年はず年の東方沖地震の後遺症からの立ち直り状況、生乳生産の伸び悩みなど懸念のなか懇談会に臨みました。出席された組合員は七地区で八十六人となりました。

三友組合長開催挨拶のあと、議題に基づき、農協事業の概況、クミカン、酪農情勢、畑作情勢と澱粉工場の状況、なかしべつフーズの状況、乳製品工場の状況、生産資材情勢、その他の案件で組合長より合併問題、生活店舗、町立病院などの状況報告をいたしました。

各地区の主な意見は、生乳生産の伸び悩みについては、昨年の猛暑、地震などの影響で分婉時期がずれたのに加え、今年の粗飼料の質の低下など悪条件が重なっている。また、各地区共通意見では、農協合併問題、フーズの本年度事業状況、乳製品工場の将来性、二千一年に向けての農業の将来性、コントラクター制度の検討、生乳生産に絡む一円拠出の問題、乳質の向上対策、生活店舗の構想など建設的な意見を戴きました。



建設的な意見が出された懇談会

## 2001年に向けての将来性は

毎年秋に実施しております地区別懇談会を、今年是全国ホルスタイン共進会など11月に行事が重なり、12月5日から18日にかけて開催いたしました。



当幌地区の懇談会から

今日の懇談会の経過については、理事事に報告し、今後の運営に反映されることとなります。建設的なご意見、ご提案ありがとうございました。

記帳から決算・申告まで

1996年版  
**農業青色申告  
の手引**

農業経営の厳しいなか、青色申告の記帳を通じて経営の実態を認識し、合理的な納税を図ることがますます重要になっていきます。

本書は、青色申告制度について解説し、農家が記帳しやすい簡易な簿記と複式簿記を紹介し、記帳の実例や確定申告書の記入実例を掲げています。また巻末には、記帳にあたっての疑問点や注意事項、有利な税金計算などを質問・回答の形で収録しました。  
※お申し込みはJA中標津組織広報係へ。

税理士

馬淵 春吉著

○体裁 A5版424頁  
○定価 1,400円税込み

# 理事会

## の経過

### 第九回理事会

開催日時 平成七年十二月十四日  
開催場所 中標津町農協中会議室

#### △議案▽

- 一、農家負担軽減支援特別資金貸付に係る利息の減免について、三十件の減免を決定する
- 二、管理電算課パソコンのリース契約について原案通り決定する
- 三、組合員資格の変更について、新規加入二件、予告脱退三件、外原案通り決定する
- 四、定例自治監査報告について、

代表監事より報告された

- 五、農家負担軽減支援特別資金の貸付について、三十件の貸付を決定する
- 六、各種制度資金の貸付について、スーパール資金三件、農機具ローン二件、乳牛購入資金三件、経営改善資金二件、信連要綱資金一件、生産向上資金一件、割賦資金二件、婦人海外研修貸付金九件、以上原案通り決定する
- 七、平成六年度共計澱粉の清算について原案通り決定する
- 八、平成七年度共計澱粉の融資単価と利率について

- (1) 共計澱粉融資価格（澱粉一袋 二十五銚）二千九百円
- (2) 澱粉即サイド価格（澱粉一袋 二十五銚）二千六百五十円

- (3) 利率 三・五割  
以上決定する
- 九、肉用牛売却所得免税措置の指定申請について原案通り決定する
- 十、生産資材（農薬、肥料）の対策費支出について、特別対策費として一千六十万三千三百六十九円を取扱量に応じて支払う事を決定する

#### △協議事項▽

- 一、四週六休に係る執務時間の検討について
- 二、人事考課の検討について
- 三、地区別懇談会の主な意見について
- 四、定例自治監査の指摘事項に対する改善方策について
- 五、組合員勘定中間協議及び営農協議について

#### △報告事項▽

- 一、年末年始各部門の営業日程について
- 二、死亡広告の送信変更について
- 三、各種補助事業の実施状況について
- 四、農用地総合整備事業（根室東部地区）について
- 五、牧草収穫体系アンケート調査の実施について
- 六、平成七年度生乳計画生産の取り進めについて
- 七、平成八年度営農計画策定における生乳生産の目安について
- 八、第三期生乳安定生産対策について
- 九、ファクシミリの利用状況について

農業者年金制度の改正により、平成八年四月一日から農業に従事する女性も、農業者年金に加入することができるようになりました。（一定の条件が必要）

そこで、そのことに関わって次により「第一回農業に従事する女性の集い」が開催されることになりましたので、参加を希望される

中標津町  
農業委員会からの  
お知らせ

## 第1回農業に従事する女性の集い

方は、平成八年一月九日までに農業委員会事務局に申し出て下さい。  
開催日時及び開催場所  
道東一ブロック  
平成八年一月十一日 午後一時  
三十分から  
場所 北見市、ピッツ・アークホテル  
道東二ブロック

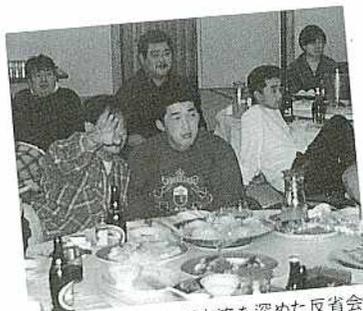
平成八年一月十二日 午後一時  
三十分から  
場所 音更町十勝川温泉、簡易保険保養センター  
※どちらかをお選び下さい。なお、参加については個人参加となりますので申し添えます。また、道東二ブロックのみ宿泊費七千円、負担金三千円がかかります。



## ことしの活動を振り返って 農協青年部反省会

平成6年の事業の反省と、新しい年へ向けての抱負を語る、農協青年部反省会が12月1日、寿宴を会場に開催されました。反省会では、高橋敏行部長が、「今年は当初計画された事業の他に開町50年の記念事業も加わり、大変忙しい年でしたが、部員各位の協力で無事終了する事が出来ました。次年に向けても部員一丸となり協力したい」とあいさつ。

その後、各テーブルごと、一年を振り返っての話しやウルトラクイズ、ダービーゲームで出席した約30人が交流を深めました。



ゲームや話しなど交流を深めた反省会

# フ オ ト ア ズ レ ズ ム



## おしとやかに 一日を 過ごす

婦人部華道、茶道教室

婦人部で毎年行なっている、華道、茶道教室ですが、今年も12月5日、11日、18日の3回、中標津町総合文化会館で開催されました。今年は、東池坊の大河内ヨリ子先生を講師に招き、午前には華道、午後には茶道と、毎回約25人ほどの部員の参加で行なわれました。

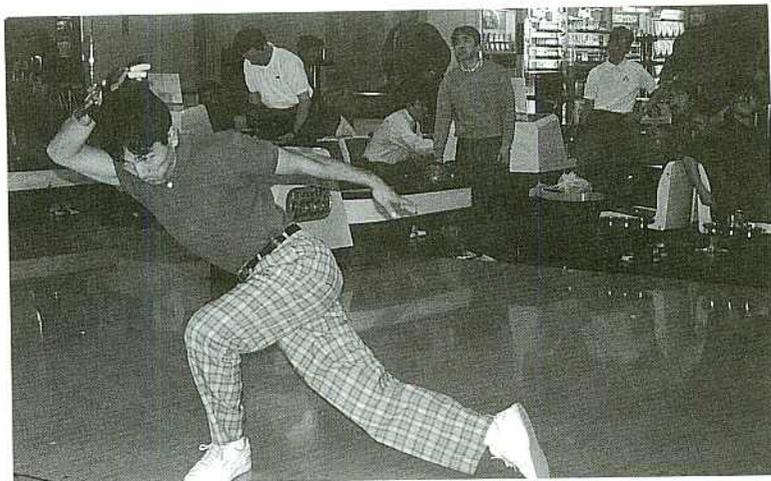
華道は生け花を中心に、茶道では、正しいお茶の飲み方、お菓子のいただき方、日常でも使えるマナーなど先生のやさしい指導で、おしとやかに過ごした一日となりました。



「足がしびれるけど、がまん、がまん」

## 2年連続 優勝に輝く

根室地区JA青年部  
スポーツ交流会



大会では、交流と熱の入ったボーリングとなりました

根室地区JA青年部スポーツ交流会が12月13日、中標津町ウコウボウルで開催されました。

この交流会は、各単組間並びに盟友間の親睦をはかり、今後のJA青年部事業の活性化をはかる目的で開催されています。当日は、6単組から14チーム42人が参加し、1ゲーム3人の団体戦が行なわれました。JA中標津青年部からも3チームが参加し、昨年に続き優勝を飾りました。大会結果は次の通りです。

優勝 JA中標津Aチーム  
準優勝 JA別海Aチーム  
ラッキー賞 JA上春別Aチーム



優勝したJA中標津Aチームの皆さん



楽しく行なわれた交流会

## 少人数で 盛り上がる

青年部独身者交流会

農協青年部独身者交流推進委員会企画によるクリスマス交流会が12月15日、スナック・シャカを会場に開催されました。

この日は他に色々な行事が重なり、参加者は男女合わせて15人（女性5人、男性10人）と少ない中での開催となりましたが、少人数なりに盛り上がり、ビール早飲み、黒ヒゲ危機一発、ピンゴゲーム、カラオケなど各テーブルで楽しい交流が行なわれました。



どちらが早い？女性によるビール早飲み

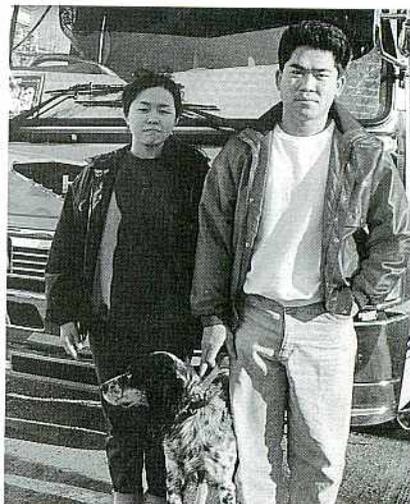
## 12月の 組合日誌

- 1日 第6回生産委員会  
    〃 営農計画書作成(22日まで)
- 2日 なかしべつフーズ(株)取締役会
- 4日 ヘルパー利用組合役員会
- 5日 地区別懇談会(8日まで)
- 8日 馬鈴しょ振興会役員会
- 11日 てん菜生産振興会役員会
- 12日 酪対委員会  
    〃 第7回生産委員会
- 14日 第9回理事会
- 15日 馬鈴しょ耕作者全体会議
- 28日 第10回理事会
- 30日 一般業務ご用納め

# 新婚さんこんにちは



寺嶋淳一さん(27歳)  
静香さん(23歳)旧姓・俵谷  
南武佐・寺嶋 享さんの後継者



引越しの手伝いが結婚のきっかけになったと話す淳一さんと静香さんは、十二月九日、中司哲雄様ご夫妻のご媒妁により結婚のスタートをきりました。

淳一さんは南武佐地区で、乳牛約百七十頭を飼養する酪農専業農家享さん(五十五歳)の後継者。

一方、静香さんは道職員であるお父さんの転勤で稚内、苫小牧、そして中標津へ(現在は釧路)と来ました。中標津が今までで一番長く十二年間、その間に静香さんは中標津に就職。

出会いは淳一さんが友だちの家に遊びに行った時、偶然にも静香さんも、その友だちの家に遊びに来ていたのが始まりとの事。

「酪農はまだまだわからない事ばかり。一つひとつ勉強して行きます」と静香さん。また淳一さんは「生活、趣味など楽しみの持てる酪農作りへ」と話す二人です。

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。平成八年のお正月を家族お揃いでお過ごしのことと思います。一年の経つのは早いもの、つい最近お正月のおもちを食べたような気がしていたのですが、もうお正月が来ました。

今年も新たな気持ちで企画、情報の発信にアンテナを張り巡らそうと思っておりますので、宜しくお願いします。



④  
ファイト&トライ

## 輝く女性

共成  
中林文子さん  
(45歳)

お詫び  
「のうきょうなかしべつ」十二月号九ページ「輝く女性」の紹介で、印刷ミスにより紹介者の名前が抜けておりました。お詫びし訂正いたします。